

住民いじめの「維新政治」ノ一

橋下氏は「実績」強調するが

暮らし予算ばつさり

大阪ダブル選挙

11月22日投票の大阪府知事・大阪市長ダブル選挙を前に、橋下徹大阪市長率いる地域政党「大阪維新の会」が、橋下市政の4年間で「大阪はこんなに良くなった」と数字を挙げて宣伝しています。ここには大きなごまかしがあり、「維新」市政で住民生活はむしろ困難になっています。

の中身を見ると、増えたのは非正規雇用です。前年に比べて非正規雇用が5万3千人増えた一方で、正規雇用は3万9千人も減っています(府労働力調査、2014年平均)。

「僕と松井(二郎)知事になってから有効求人倍率は上がっている。全期部分だけを切り取り、

度は0・68倍で、14年度は1・11倍です。大阪府は全国平均並みで「全国の中でも断トツ」とは言えません。

橋下「維新」は、大阪市の市債(借金)を減らしているとも自慢していますが、大阪市の市債残高は04年をピークに、10年連続減(全会計)で、橋下市政以前から減っています。橋下「維新」はその事実を伝えず、橋下氏の任期部分だけを切り取り、「実績」として市民に吹聴しているのです。

橋下「維新」の「実績」の正体は、府民・市民いじめの政治です。「維新」府政の7年間で、福祉・介護・医療などは1551億円も削減されました。一方で、維新政治の持ち込みを阻止した堺市では、国民健康保険料を6

「過去に戻すか、前に進めるか」を掲げる橋下「維新」。彼らの「破壊的な改革」(橋下氏)を「前に進める」政治では、暮らしは苦しくなるばかりです。(笹)

「維新」府政の7年間で、福祉・介護・医療などは1551億円も削減されました。一方で、維新政治の持ち込みを阻止した堺市では、国民健康保険料を6

「維新」府政の7年間で、福祉・介護・医療などは1551億円も削減されました。一方で、維新政治の持ち込みを阻止した堺市では、国民健康保険料を6